

DEPARTMENT OF MOLECULAR MEDICINAL CHEMISTRY

分子創薬化学研究室 (旧 薬化学研究室)

2009. 10



ORGANIC
CHEMISTRY

教授
佐野 茂樹
Shigeki SANŌ

平成20年度博士論文

- ・中尾 允泰
「酵素反応を用いる α -置換セリン誘導体の不斉合成ならびに絶対配置の決定に関する研究」

助教
中尾 允泰
Michiyasu NAKAO

Members
of Our Lab.



2009-06-04撮影
徳島大学蔵本キャンパス・長井記念ホール前にて

平成21年10月9日より、4名の3年次学生が分子創薬化学分野 (旧 薬化学研究室) のメンバーに加わりました。分子創薬化学研究室では、「ヘテロ原子の特性を活用する新反応および機能性分子の開発と創薬への応用」を研究課題の柱とし、チームワークを第一に研究室員全員が一丸となり、薬学としての独自性と学際性を備えた有機化学的研究に取り組んでいます。

Four juniors has joined the member of our laboratory on October 10, 2009. The main concern of this department is "the development of new reactions, functional molecular devices, and new candidate compounds for drugs".

研究室の情報は下記ホームページに掲載しています。詳細についてのご質問等は、研究室 (6階東) をお訪ね下さい。

URL <http://150.59.84.2/?&f=116>

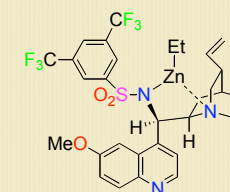
2009-10-09撮影
分子創薬化学研究室にて



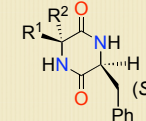
平成20年度修士論文

- ・市川 喬士 「脱共役エステル化反応による光学活性2-シクロヘキセニル酢酸エステルの合成研究」
- ・大勢 祐希子 「ケトンの不斉還元によるフルオロオレフィン型光学活性ジペプチドミメティクスの合成研究」
- ・上野 麻衣 「アングィバクチン及びアンヒドロアングィバクチンの合成研究」
- ・竹安 正範 「イソマンニド及びジケトピペラジン骨格を有する不斉有機触媒の合成開発研究」
- ・山下 大輔 「タンデム型還元-オレフィン化反応によるE型オレフィンの合成研究」

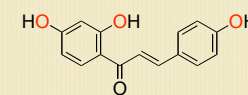
Key Compounds



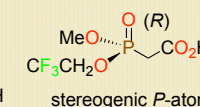
chiral sulfonamide-
Zn complex catalyst



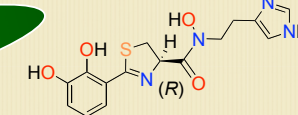
diketopiperazine



isoliquiritigenin



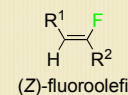
stereogenic P-atom



(-)-anguibactin



(s-Z)-amide



(Z)-fluoroolefin